

平成24年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅲ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章	調査要領	1
1-1	調査時点及び調査対象期間	
1-2	調査対象	
1-3	調査方法	
1-4	回収状況	
第2章	概況	
2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
第3章	各判断項目回答割合	
3-1	業況	6
3-2	完成工事高・生産高・売上高	7
3-3	在庫水準	8
3-4	採算	8
3-5	資金繰り	9
第4章	景況天気図	
4-1	記号説明	10
4-2	全業種D.I値の状況	10
4-3	業種別D.I値の状況	11
第5章	産業別経営上の問題点	13
第6章	産業別設備投資の状況	14
第7章	業界の景気動向等その他ご意見	15

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成24年12月19日（水）～平成25年1月18日（金）
- (2) 調査期間：平成24年10月～12月期実績、及び、平成25年1月～3月期見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（25件）、製造業（23件）、卸売業（21件）、小売業（33件）、サービス業（33件）の5業種135社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

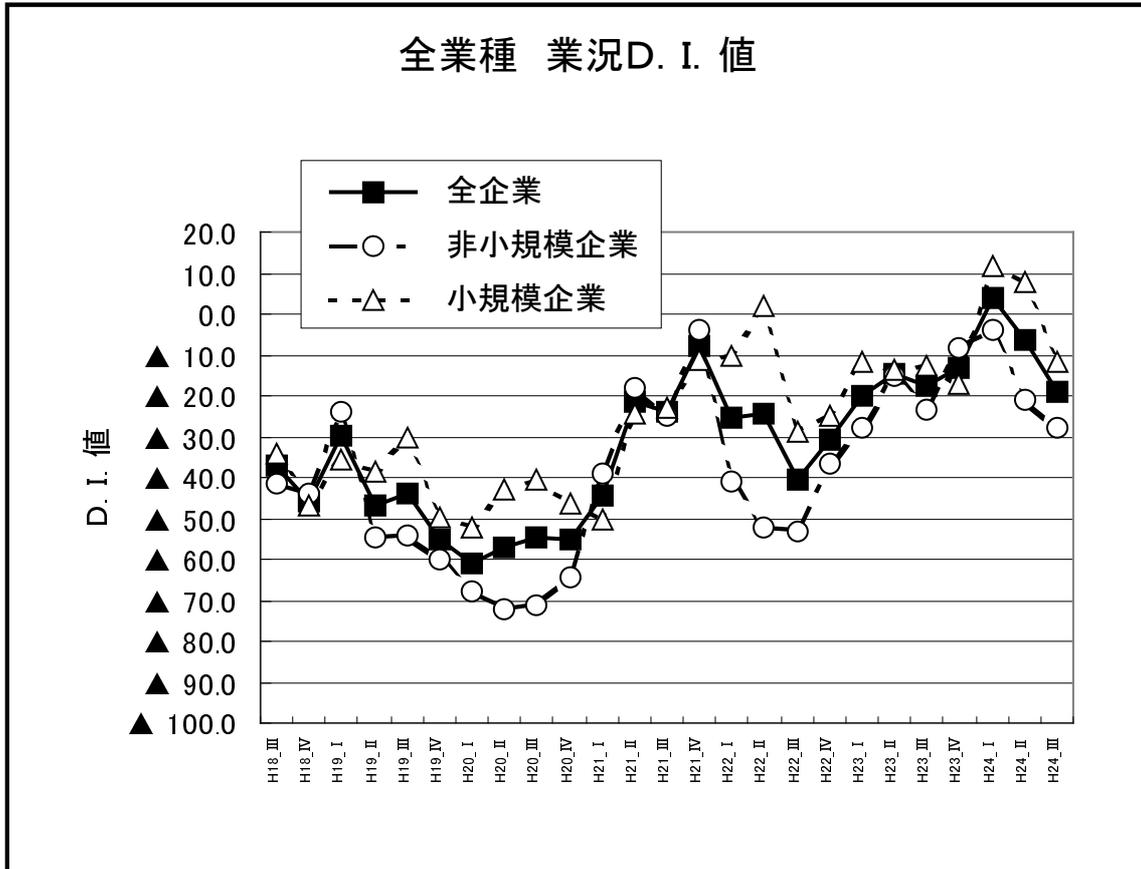
1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		25件	19件 (非小規模企業：9件) (小規模企業：10件)	76.0%
製造業		23件	15件 (非小規模企業：5件) (小規模企業：10件)	65.2%
卸売業		21件	18件 (非小規模企業：9件) (小規模企業：9件)	85.7%
小売業		33件	25件 (非小規模企業：10件) (小規模企業：15件)	75.8%
サービス業		33件	21件 (非小規模企業：13件) (小規模企業：8件)	63.6%
合計		135件	98件	72.6%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業・小売業・サービス業は5人以下）を示す。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成24年度第Ⅲ四半期<10月~12月>の業況は、前年同期比で「好転企業」19.4%、「悪化企業」30.6%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲11.2と前期に比べ5.1ポイント悪化しました。小規模企業のD.I.値は▲1.9で改善傾向を示したが、非小規模企業は▲21.7と大きく悪化しました。

建設業はD.I.値5.3とプラスを維持したものの前期と比較すると14.8ポイント数値を下げました。製造業はほぼ横ばい、卸売業はD.I.値を15.9ポイント下げ▲22.2、小売業はD.I.値▲20.0と厳しい状況が続いているものの一部消費の伸び悩みが鈍化し、前期から14.6ポイント数値を上げました。好調を維持していたサービス業については、D.I.値0と大きくポイントを下げており、次期への影響が懸念されます。

今期と比べた次期<10月~12月>の見通しは「好転企業」が12.4%、「悪化企業」が30.9%となり、D.I.値▲18.5とさらに厳しい見通しをたてています。

前期好調だった建設業が厳しい見通しを示した他、製造業・卸売業も厳しさが増すと予測、小売業・サービス業についても改善の方向が見えないなど景気縮小感が続くものと予測されます。

経営上の問題点としては「同業者間の競合」「得意先の減少」「売上(受注・生産)の不振」が前期に引き続き上位を占めています。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	60.0%	20.0%	40.0	↗
非小規模企業	33.3%	44.4%	▲11.1	↘
全 体	47.4%	31.6%	15.8	↗

■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	30.0%	20.0%	10.0	↗
非小規模企業	11.1%	44.4%	▲33.3	↘
全 体	21.1%	31.6%	▲10.5	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	0.0%	40.0%	▲40.0	↘
	非小規模企業	11.1%	22.2%	▲11.1	↘
	全 体	5.3%	31.6%	▲26.3	↘
完成工事高	小規模企業	0.0%	50.0%	▲50.0	↘
	非小規模企業	22.2%	33.3%	▲11.1	↘
	全 体	10.5%	42.1%	▲31.6	↘
資金繰り	小規模企業	20.0%	50.0%	▲30.0	↘
	非小規模企業	11.1%	11.1%	0.0	→
	全 体	15.8%	31.6%	▲15.8	↘

(2) 製造業

■生 産 高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	20.0%	40.0%	▲20.0	↘
非小規模企業	20.0%	40.0%	▲20.0	↘
全 体	20.0%	40.0%	▲20.0	↘

■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	10.0%	30.0%	▲20.0	↘
非小規模企業	20.0%	40.0%	▲20.0	↘
全 体	13.3%	33.3%	▲20.0	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	10.0%	40.0%	▲30.0	↘
	非小規模企業	0.0%	40.0%	▲40.0	↘
	全 体	6.7%	40.0%	▲33.3	↘
生 産 高	小規模企業	10.0%	50.0%	▲40.0	↘
	非小規模企業	0.0%	60.0%	▲60.0	↘
	全 体	6.7%	53.3%	▲46.6	↘
資金繰り	小規模企業	10.0%	40.0%	▲30.0	↘
	非小規模企業	0.0%	40.0%	▲40.0	↘
	全 体	6.7%	40.0%	▲33.3	↘

(3) 卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	11.1%	44.4%	▲33.3	↘
非小規模企業	22.2%	44.4%	▲22.2	↘
全 体	16.7%	44.4%	▲27.7	↘

■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	0.0%	22.2%	▲22.2	↘
非小規模企業	11.1%	44.4%	▲33.3	↘
全 体	5.6%	33.3%	▲27.7	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	25.0%	37.5%	▲12.5	↘
	非小規模企業	0.0%	44.4%	▲44.4	↘
	全 体	11.8%	41.2%	▲29.4	↘
売 上 高	小規模企業	11.1%	55.6%	▲44.5	↘
	非小規模企業	0.0%	44.4%	▲44.4	↘
	全 体	5.6%	50.0%	▲44.4	↘
資 金 繰 り	小規模企業	0.0%	33.3%	▲33.3	↘
	非小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	全 体	0.0%	16.7%	▲16.7	↘

(4) 小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	26.7%	20.0%	6.7	↗
非小規模企業	10.0%	50.0%	▲40.0	↘
全 体	20.0%	32.0%	▲12.0	↘

■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	6.7%	26.7%	▲20.0	↘
非小規模企業	20.0%	40.0%	▲20.0	↘
全 体	12.0%	32.0%	▲20.0	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	6.7%	26.7%	▲20.0	↘
	非小規模企業	20.0%	20.0%	0.0	→
	全 体	12.0%	24.0%	▲12.0	↘
売 上 高	小規模企業	0.0%	46.7%	▲46.7	↘
	非小規模企業	20.0%	30.0%	▲10.0	↘
	全 体	8.0%	40.0%	▲32.0	↘
資 金 繰 り	小規模企業	0.0%	20.0%	▲20.0	↘
	非小規模企業	10.0%	30.0%	▲20.0	↘
	全 体	4.0%	24.0%	▲20.0	↘

(5) サービス業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	37.5%	12.5%	25.0	↗
非小規模企業	15.4%	23.1%	▲7.7	↘
全 体	23.8%	19.0%	4.8	↗

■採 算

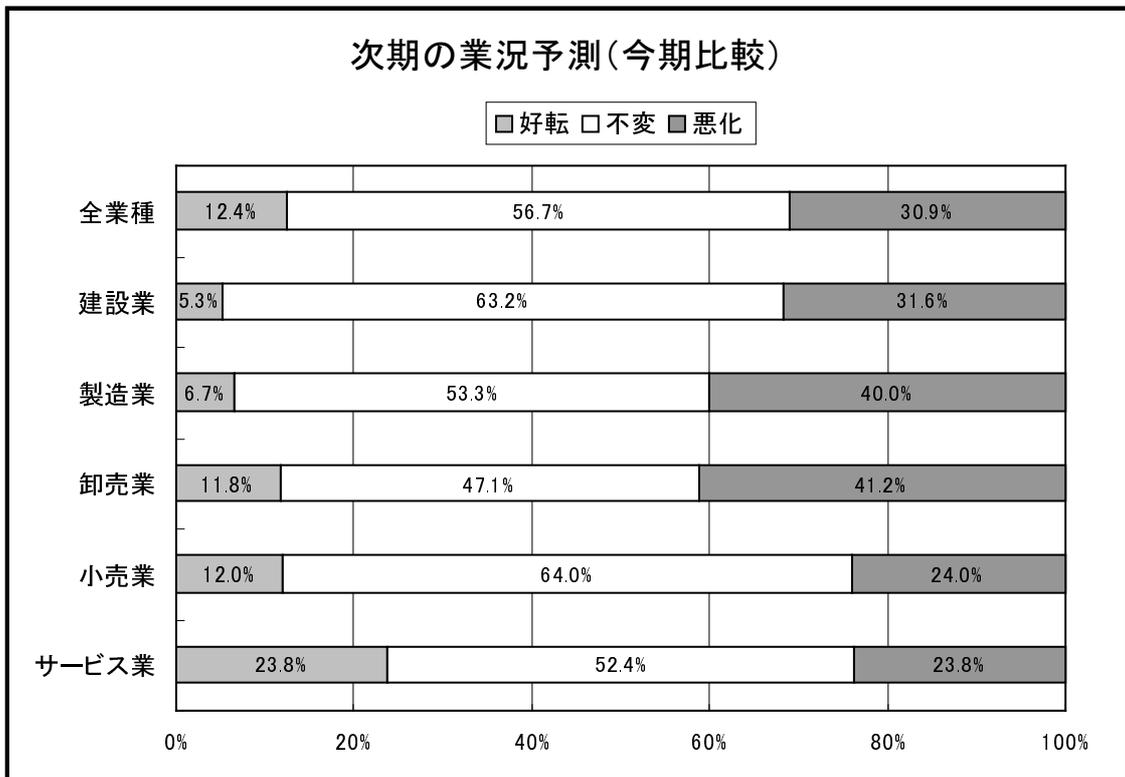
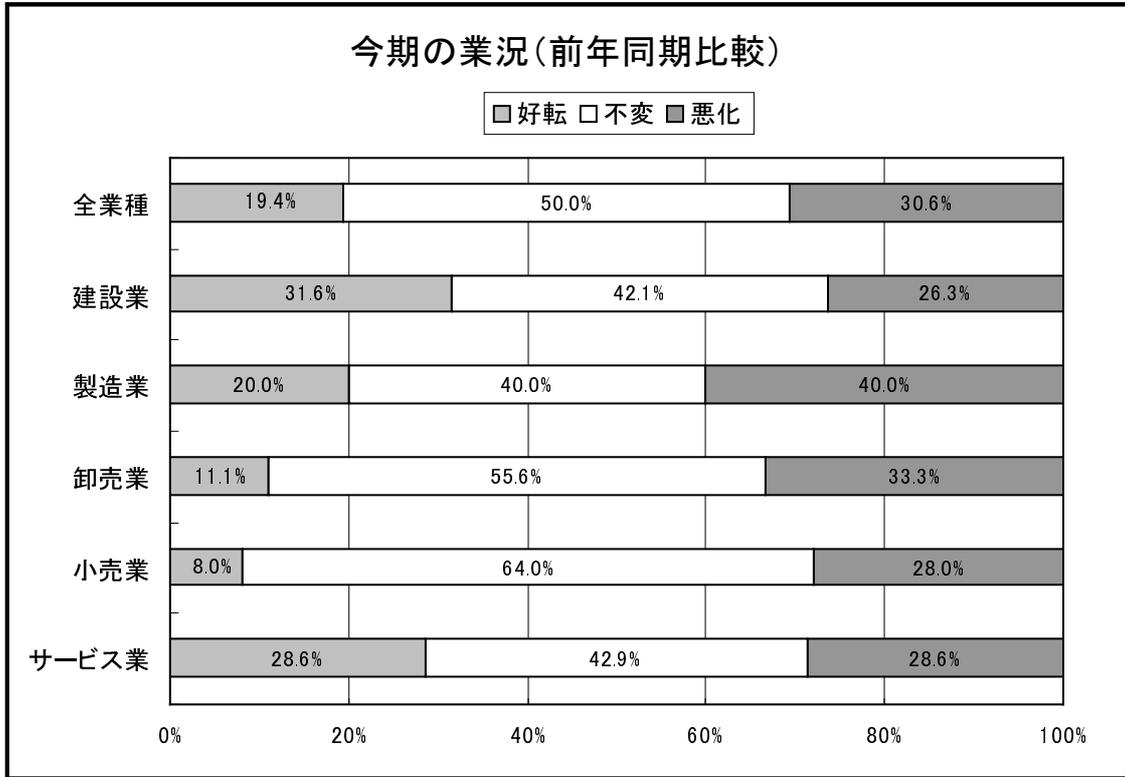
規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	12.5%	25.0%	▲12.5	↘
非小規模企業	7.7%	30.8%	▲23.1	↘
全 体	9.5%	28.6%	▲19.1	↘

■次期の見通し

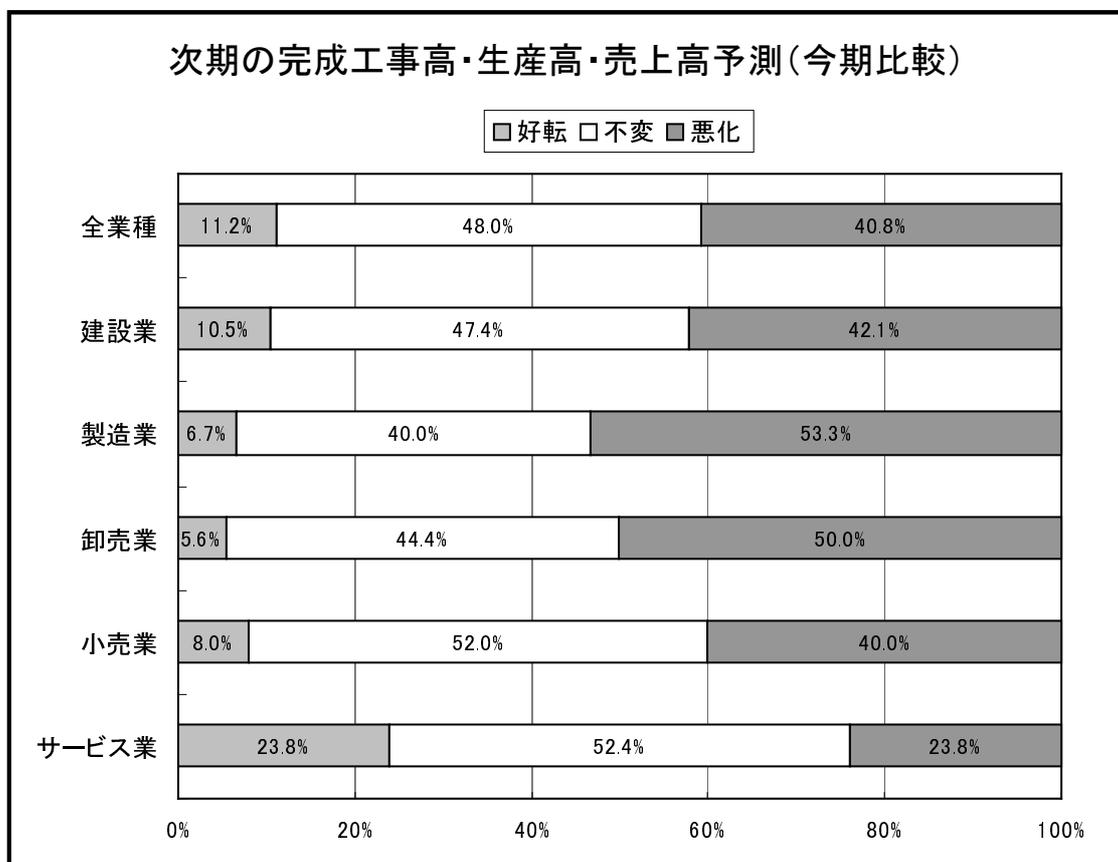
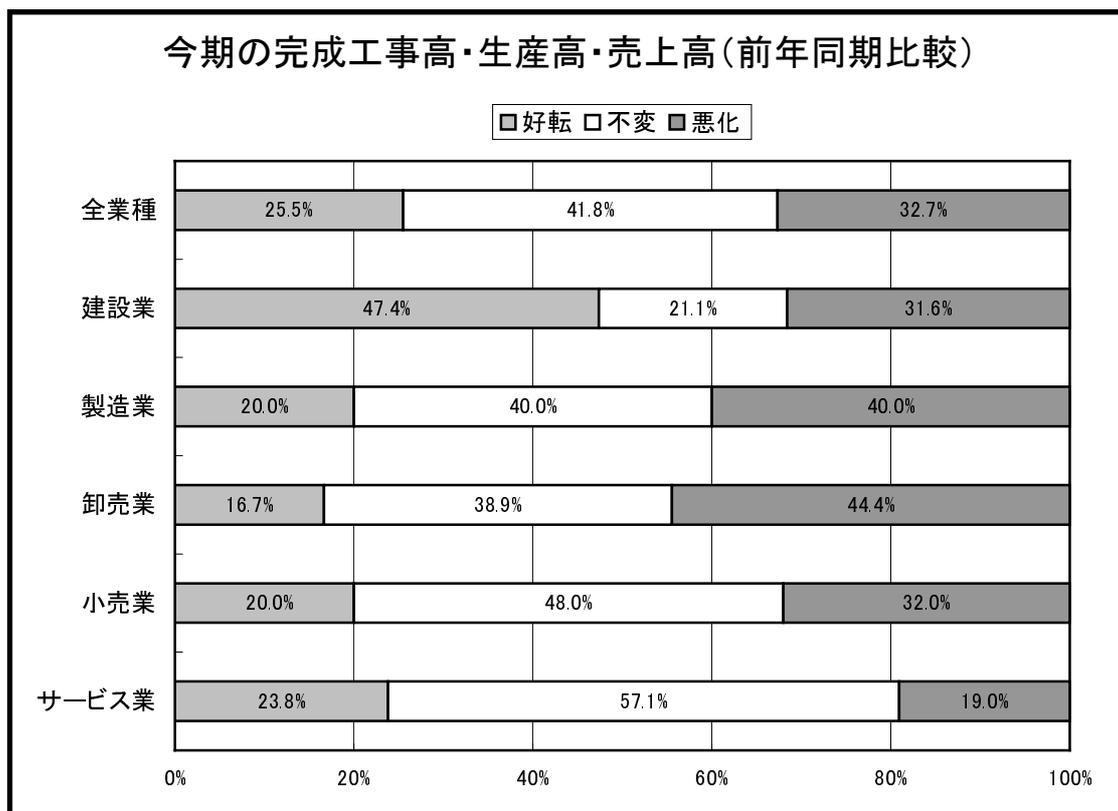
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	25.0%	12.5%	12.5	↗
	非小規模企業	23.1%	30.8%	▲7.7	↘
	全 体	23.8%	23.8%	0.0	→
売 上 高	小規模企業	25.0%	12.5%	12.5	↗
	非小規模企業	23.1%	30.8%	▲7.7	↘
	全 体	23.8%	23.8%	0.0	→
資 金 繰 り	小規模企業	0.0%	28.6%	▲28.6	↘
	非小規模企業	15.4%	15.4%	0.0	→
	全 体	10.0%	20.0%	▲10.0	↘

第3章 各判断項目回答割合

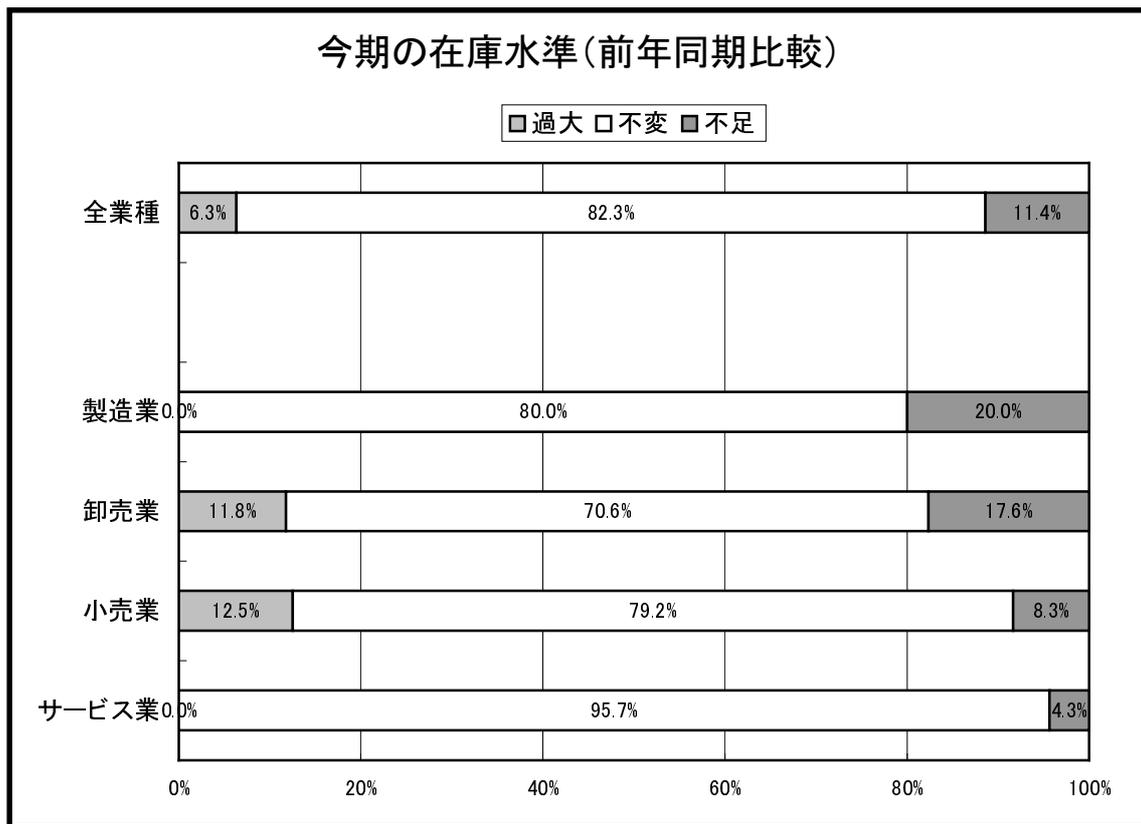
3-1. 業況



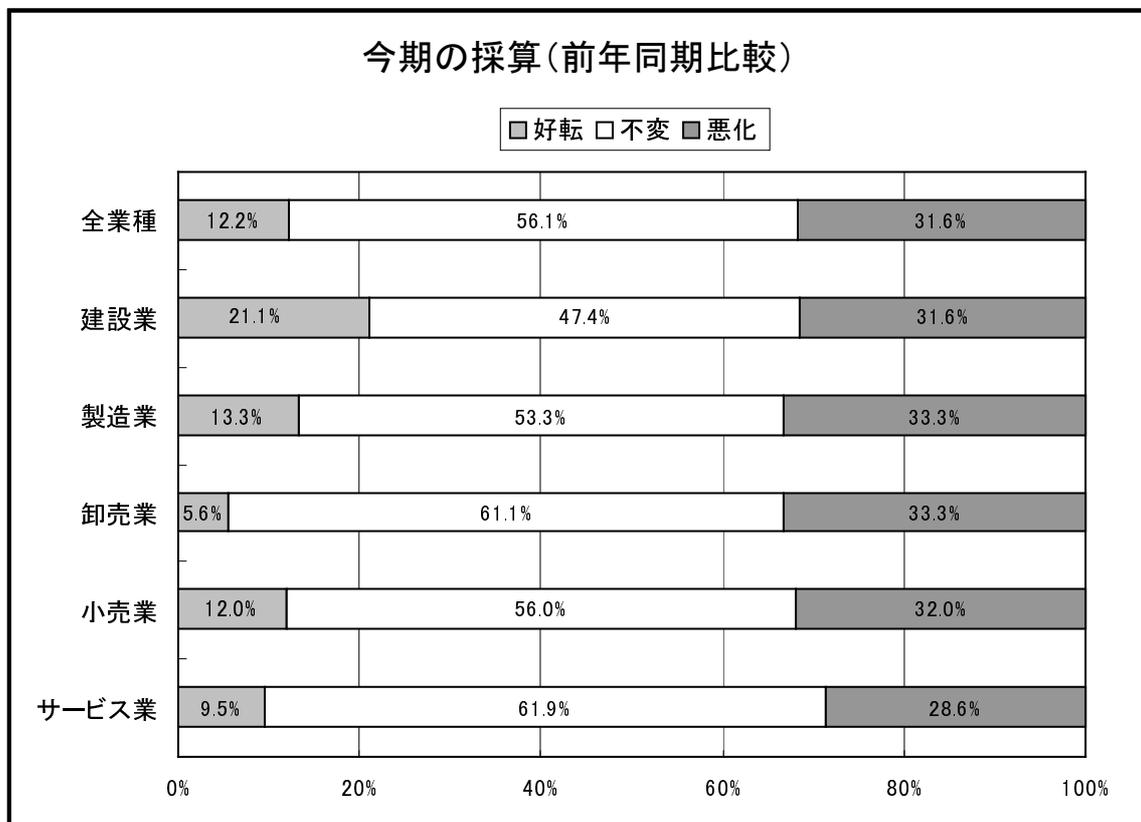
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



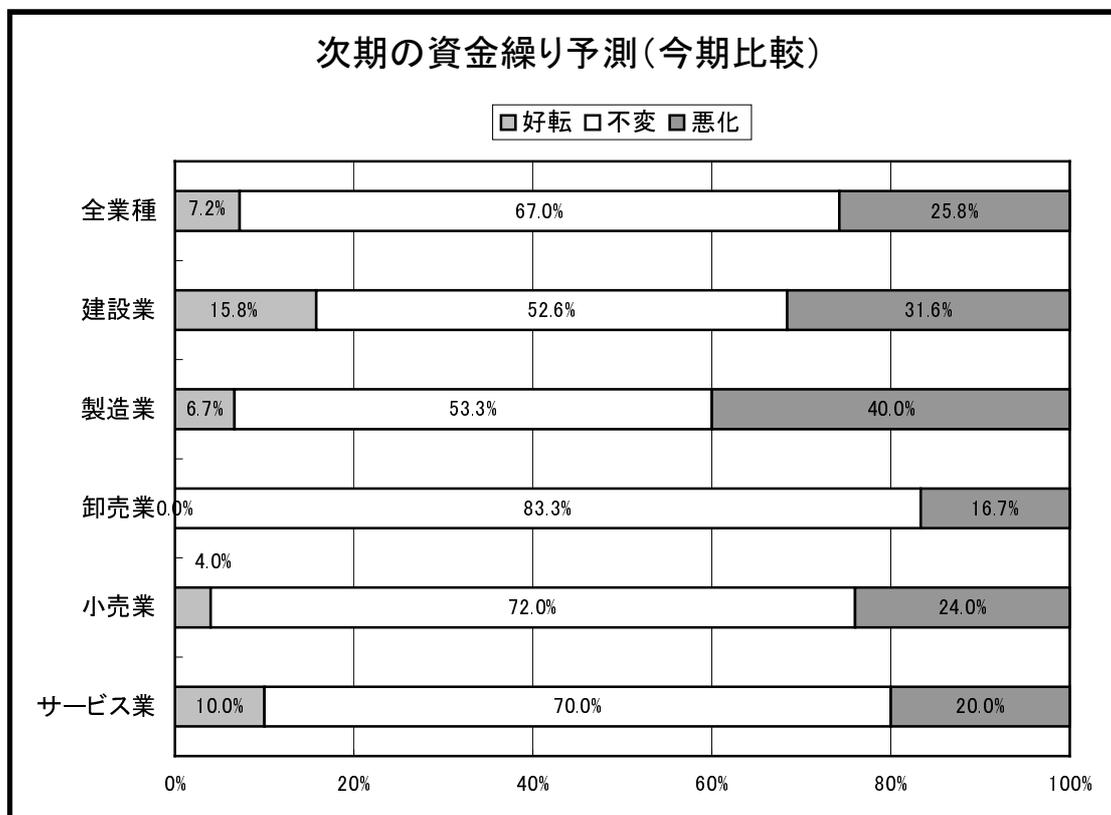
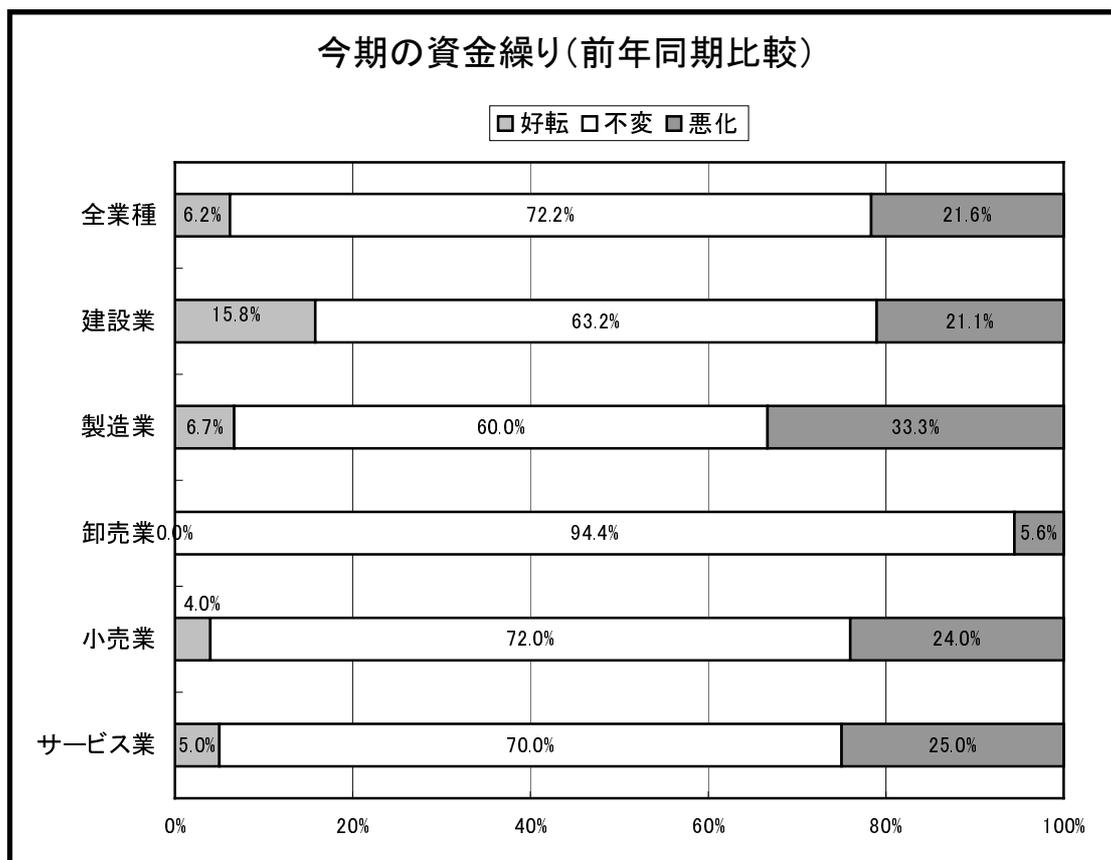
3-3. 在庫水準



3-4. 採算

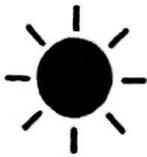


3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明

				
とくに好調 (D.I. ≥ 50)	好 調 (50 > D.I. ≥ 25)	まあまあ (25 > D.I. ≥ 0)	不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25)	きわめて不振 (▲25 > D.I.)

4-2. 全業種 D.I. 値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 ▲11.2	 ▲18.5
売 上	 ▲7.2	 ▲29.6
採 算	 ▲19.4	
資金繰り	 ▲15.4	 ▲18.6

4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
建設業	業況	 5.3	 ▲26.3
	完成工事高	 15.8	 ▲31.6
	採算	 ▲10.5	
	資金繰	 ▲5.3	 ▲15.8
製造業	業況	 ▲20.0	 ▲33.3
	生産高	 ▲20.0	 ▲46.6
	採算	 ▲20.0	
	資金繰	 ▲26.6	 ▲33.3
卸売業	業況	 ▲22.2	 ▲29.4
	売上高	 ▲27.7	 ▲44.4
	採算	 ▲27.7	
	資金繰	 ▲5.6	 ▲16.7

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
小 売 業	業 況	 ▲20.0	 ▲12.0
	売 上 高	 ▲12.0	 ▲32.0
	採 算	 ▲20.0	
	資 金 繰	 ▲20.0	 ▲20.0
サービス業	業 況	 0.0	 0.0
	売 上 高	 4.8	 0.0
	採 算	 ▲19.1	
	資 金 繰	 ▲20.0	 ▲10.0

第5章 産業別経営上の問題点

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建 設 業	同業者間の競合	売 上 の 不 振	人 材 不 足	諸 経 費 増	人 件 費 増 得 意 先 減 少
製 造 業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少 売 上 の 不 振	人 材 不 足	人 件 費 増 そ の 他
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	売 上 の 不 振	諸 経 費 増	人 件 費 増 そ の 他
小 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	売 上 の 不 振	人 材 不 足	諸 経 費 増
サービ業	得 意 先 減 少	同業者間の競合 諸 経 費 増 人 材 不 足 売 上 の 不 振	人 件 費 増	資 金 調 達 困 難	
合 計	同業者間の競合	得 意 先 減 少	売 上 の 不 振	諸 経 費 増	人 材 不 足

第6章 設備投資の動向

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
した	5件(26.3)	1件(6.6)	1件(5.6)	4件(16.0)	5件(23.8)	16件(16.3)
しない	13件(68.4)	14件(93.3)	17件(94.4)	20件(80.0)	16件(76.2)	80件(81.6)
無回答	1件(5.2)	0件(0.0)	0件(0.0)	1件(4.0)	0件(0.0)	2件(2.0)
合計	19件	15件	18件	25件	21件	98件

※上記表のカッコ内はパーセンテージを示す。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
土地	1件	-	-	-	1件	2件
店舗	-	-	-	-	1件	1件
販売設備	-	-	-	1件	1件	2件
車輛	2件	1件	1件	1件	2件	7件
付帯設備	1件	1件	1件	-	4件	7件
OA機器	-	-	-	2件	-	2件
福利厚生施設	-	-	-	-	1件	1件
その他	2件	-	-	1件	-	3件

※複数回答があるため、表1の合計件数と相違している。

※その他の記述は以下のとおり。

建設業：太陽光（1件）、浚渫船（1件）

小売業：冷蔵庫（1件）

第7章 業界の景気動向等その他のご意見

- ・お客様の職の景気が良くならなければ、我々まで波及しない。全体の景気が良くなることを期待しています。(建設業)
- ・消費税増税が実施されると、仕事が増えたり、その後減ったりとなることが予想されます。増えた時に対応がうまくいくか、減った時には会社の経営そのものに影響が出ると思います。世の中の流れとはいえ、乗り切り方が難しいですね。(建設業)
- ・新規の仕事が少ない。従来の仕事の減少(廃業や倒産による)(製造業)
- ・今、灯油の値段が上がり大変なことだと思います。(製造業)
- ・気候が近年にないほどの悪天候のため、農家の手取り収入が減少するため、買い控えが若干予想される。(卸売業)
- ・中心市街地活性化と効果のギャップを感じています。(小売業)
- ・国内のお客様の減少により、土産品の売上が減少しているため、入込数が増加しても売上に繋がらない。(小売業)
- ・同業者の増加、来店回数の減少(サービス業)
- ・12月、1月は前年比で稼働が落ちています。(サービス業)
- ・今後の公共事業の増加に期待(サービス業)
- ・この先どのように今年は変化していくのか、皆目見当が付きません。経費ばかりが高くなり利益が食われてばかりです。これ以上節約、材料費、人件費の見直しも限界にきてるように思います。やはり個々の努力しか生き残っていけないような気がします。
(サービス業)